

Economic Indicators

定例経済指標レポート

テーマ：景気動向指数（11月）の予測

発表日：2008年12月26日（金）

～C I からみても、過去の後退局面を越える落ち込みになる可能性大～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主任エコノミスト 新家 義貴
TEL:03-5221-4528

○ 一致、先行とも急低下

12月26日時点で公表されている統計により計算を行うと、11月のC I一致指数は前月差▲2.8ポイント、C I先行指数が前月差▲3.7ポイントが予想される。ともに大幅なマイナスとなり、景気の急速な悪化が進行していることが示される見込みだ。また、D Iについても、先行、一致とも2ヵ月連続でゼロとなる見込みであり、景気が広がりを持ちながら悪化をしていることも同時に示されるだろう。

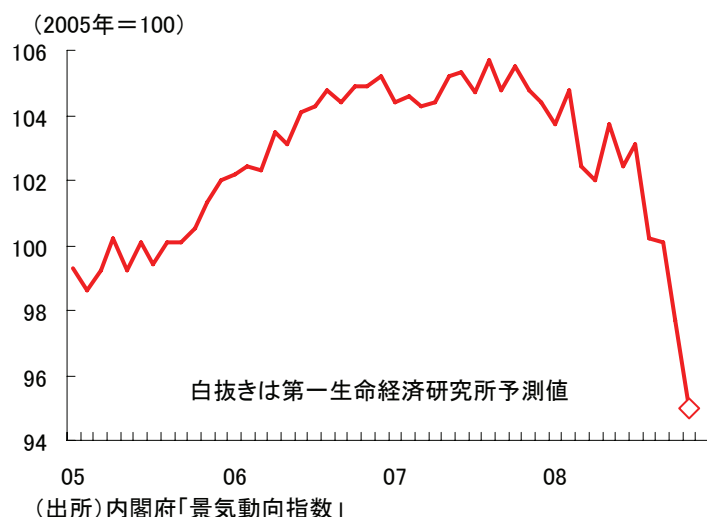
○ C I からみても、過去の後退局面を越える落ち込みに

仮に11月が予想通りとなれば、C I一致指数の直近ピークである07年8月からの累積悪化幅は▲10.2%になる。既に、ITバブル崩壊時である00年12月～02年1月の悪化幅（▲11.9%）や、消費税引き上げやアジア通貨危機、金融危機などが重なった97年5月～98年12月の悪化幅（▲12.3%）に匹敵する落ち込み度合いになっている。生産予測指数などからみて12月以降もC Iの大幅悪化が続く可能性が高く、最終的にはこれらの後退局面における落ち込み幅を上回ることになるだろう。

鉱工業生産は08年10-12月期、09年1-3月期にそれぞれ前期比二桁減と、過去に例のない落ち込みを示す可能性が高まっているが、C I一致指数でみても、過去の景気後退局面を上回る悪化となる可能性が高いとみられる。

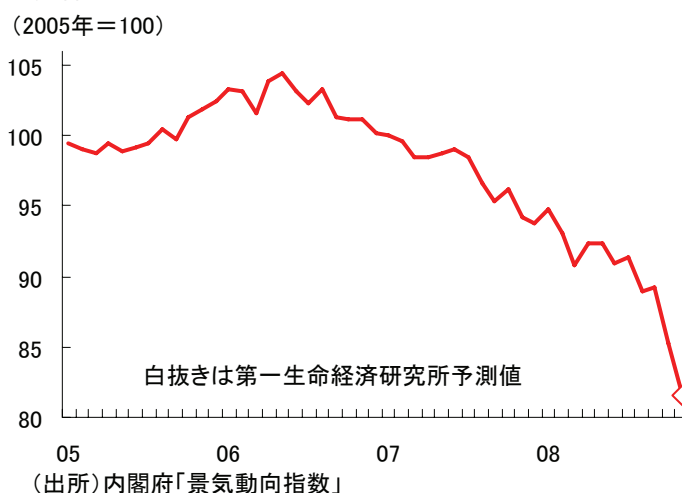
（資料1）

CI一致指数



（資料2）

CI先行指数



(資料3) 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度の予想

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
大口電力使用量	-0.35		
有効求人倍率(除学卒)	-0.34		
中小企業売上高(製造業)	-0.34		
鉱工業生産財出荷指数	-0.34		
生産指数(鉱工業)	-0.34		
商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.34		
投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.34		
所定外労働時間指数(製造業)	-0.33		
商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.02		
営業利益(全産業)	0.00		
稼働率指数(製造業)	0.00		